

令和7年度上半期のエソール広島の活動状況について

1 要旨・目的

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和7年度上半期の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

2 現状・背景

「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次広島県男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めていくために、取組を着実に実施することが重要であることから、事業の実施状況や施設の利用状況等を取りまとめ、活動の検証を行うことで、今後の取組の充実・強化を図ることとしている。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（詳細は別紙のとおり）

「わたらしい生き方応援プランひろしま」に基づき、性別にかかわらず誰もがわたらしく生きることのできる社会を実現するため、次の3点を重点項目として事業を行った。

<重点項目>

- (ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- (イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- (ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

ア 重点項目等の主な取組

(ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

- ・ 県民の意識改革の気運醸成を目的とした、わたらしい生き方を選択するための講座では、若者減少といった今日的な課題をテーマとして取り上げたことなどにより、受講者数の増加や情報スペースへの再来訪者の増加につながった。【講座参加者数：304人（2講座）】
- ・ 性別役割に関する「もやもや」を川柳の形で募集・発信し、男女双方の意識改革を促す「ジェンダー川柳コンテスト」を県との連携のもと実施した。協賛企業数は昨年度から6社増え、ジェンダーバイアス解消という事業趣旨への賛同の輪が広がるとともに、企業等の広報協力により、これまで応募が少なかった男性からの応募も増え、昨年度を上回る数の作品が寄せられた。【応募数：4,244作品、昨年度：3,747作品】



(イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

- ・ 家族や職場の人間関係トラブルなどの悩みに対し、電話相談や面接相談、専門機関等へ繋ぐなどの対応を行った。相談件数は、前年度同期を上回る相談が寄せられ、相談内容は、「家族（夫婦、子ども、親等）に関する相談」が15.6%増えたほか、年代別では、50代が5割近くを占めた。

区分		令和7年度上半期	令和6年度上半期	対前年度比
一般相談	電話相談	1,225件	1,158件	105.8%
	面接相談	63件	59件	106.8%
合計		1,288件	1,217件	105.8%

- ・ 相談等の対人支援者には多岐にわたる相談対応のスキルが求められることから、困難を抱える方への支援の充実・強化を図るため支援者養成に取り組んだ。【支援者養成講座参加者数：35人】

(ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

- 性の多様性の悩み等について、週1日の電話相談で対応した。相談者の年代別では主に50代の相談件数が増加し、民間支援団体へつなぐ対応が増加した。

区分		令和7年度上半期	令和6年度上半期	対前年度比
LGBT相談	電話相談	116件	108件	107.4%
	面接相談	3件	3件	100.0%
合計		119件	111件	107.2%

- また、福山市において出張面接相談会を実施し、あわせてグループ相談を実施した。

【LGBT面接相談会参加者数：6人】

- 性の多様性等に関する理解促進について、県教育委員会等と連携し高等学校における出前授業を実施したほか、若者の身近にいる教職員を対象とした公開講座では、ゲストに教育現場での実践者を迎え、基本的な知識の理解に加え、より実践的な支援方法について学ぶ機会を提供した。

【出前授業：4回 1,476人、前年同時期：5回 1,162人】

(エ) 上記3分野以外の取組等

- 県や民間団体と連携し、ジェンダーに関する今日的なテーマを取り上げた共催イベントや企業・団体からの研修の受託を受け、講師派遣を行った。
- また、若年層がジェンダー平等を考えるきっかけづくりとして、小・中学校と連携し、ミニ講座を実施した。【講座参加者数：161人】

(共催事業)

区分	回数(団体数)	参加者	内容
令和7年度上半期	17回(10団体)	1,017人	「出張!エソール塾」など
令和6年度上半期	14回(8団体)	780人	「FEMTECH FES (フェムテック フェス)」など

イ 利用状況

出前授業や共催事業参加者の増加による外部施設での利用者が増加するとともに、情報スペースの利用増により、前年度同期に比べて全体の利用者数が増加した。

区分	令和7年度上半期	令和6年度上半期	対前年度比
利用者数	18,284人	12,256人	149.2%
うち外部施設での参加者数(研修受託等)	5,925人	1,983人	298.8%

ウ 評価と今後の対応

- 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革では、県と連携して実施している川柳コンテストにおいて、協賛企業の拡大や、男性からの応募が増えたほか、中には学校単位での団体応募もあり、取組の広がりが見られた。下半期は、県民投票や優秀作品の授賞式などの機会を捉えた広報や、優秀作品を活用した啓発等により、県民の意識改革の気運醸成を図っていく。
- 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化では、窓口寄せられる相談内容に応じて、専門家や弁護士相談の予約を案内するなど、具体的な支援への接続ができた。引き続き、相談内容の傾向等を踏まえ、電話・面接相談を実施するとともに、支援者のスキルアップとネットワークづくりに取り組んでいく。
- 性の多様性への理解促進については、公開講座等で参加者からの高い満足度を得ている。更なる理解の促進に向け、引き続き、企業等を対象とした研修受託や、高等学校における出前授業に積極的に取り組んでいく。
- 下半期は、ジェンダー視点で考える防災や女性特有の健康課題といった今日的なテーマを取り上げるほか、他団体との共催での事業実施や、企業等からの研修受託に取り組むとともに、市町等とも連携した情報発信を行い、認知度の向上及び利用者数の増加を図る。

(3) スケジュール(実施期間)

令和7年4月～令和7年9月

令和7年度上半期のエソール広島の活動状況について

〔 令和7年11月27日
わたらしい生き方応援課 〕

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和7年度上半期の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

第1 エソール広島の事業の実施状況について

「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めて行くため、次の3点を重点項目として事業を行っている。

＜重点項目＞

- 1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- 2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- 3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

(1) 事業内容

- ジェンダー平等の視点に立った意見の反映が進むよう、古典から読み解くジェンダー感や若者の転出超過といったテーマを取り上げた「わたらしい生き方を選択するための講座」を実施したほか、性別による固定観念の解消に向け、日頃抱えている性別役割に関する「もやもや」を川柳の形で募集・発信し、男女双方の意識改革を促すジェンダー川柳コンテストを実施している。

ア わたらしい生き方を選択するための講座

講座名	実施日	参加者	内容
エソール広島公開講座 「山崎ナオコーラさん講演会～ものがたりをジェンダーの視点でたのしむ～」	5/18	208人	メディア等の影響で、関心の高まっている「源氏物語」を通して、古典についてジェンダーの視点から現代に通じる問題を考える講座を実施した。 満足度：94.0% 受講者の声：「親しみやすい題材で、わかりやすかった。源氏物語に対して感じていた面白さ以外の腑に落ちないところを話していただいて、スッキリした。」など

講座名	実施日	参加者	内容
エソール広島公開講座 「若者の転出超過とジェンダーを考える」	6/28	96人	若者の転出超過について、ジェンダーの視点から課題と解決策を探るとともに、若者が「広島で暮らしたい」「広島に戻りたい」と思える地域づくりに向けてジェンダーの視点から考える公開講座を実施した。 満足度：95.2% 受講者の声：「広島県に残るか考えるきっかけになった。大学や就職先を決めるときに県内、県外も考えてみようと思った。」「様々な立場の人がパネルディスカッションで意見を交わすというのが、とても良かった。多角的な視点で考える良いきっかけになった。」など

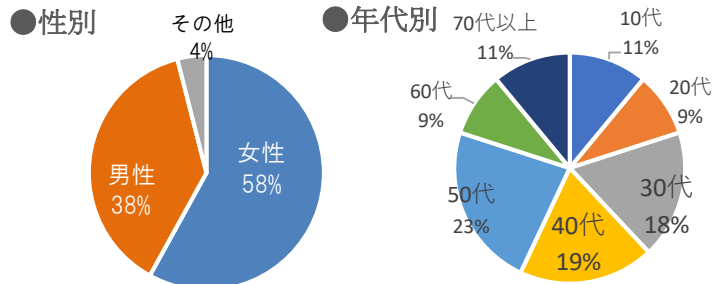
イ ちいと もやもや ジェンダー川柳コンテスト

事業名	内容
ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト2025	一人ひとりが自らのアンコンシャス・バイアスに気づくことによって、社会全体の意識変容につなげていくため、令和5年度から実施している。 今年度は、県内企業17社からの協賛を得て、9月2日から10月13日にかけて、「男だから」「女だから」など性別による思い込みや決めつけで「もやもや」したことを川柳の形で募集した。 審査員や企業賞を提供していただいた特別協賛企業6社による審査のほか、県民による共感作品への投票を経て、12月16日(火)に結果発表を予定している。 ○応募総数 4,244作品(令和6年度 3,747作品) ○多く寄せられた作品の内容 ・「男らしさ」や「女らしさ」を規定する言葉や慣習に関するもやもや ・家事育児に関する性別による固定観念への違和感 等 ○協賛企業数 17社(令和6年度 11社)

(知事定例会見)



○応募者の属性



(2) 評価と今後の対応

- わたらしい生き方を選択するための講座では、若者減少といった今日的な課題をテーマとして取り上げたほか、人気作家を迎えることにより、受講者数が増加しただけでなく、受講をきっかけに情報スペースへの再来訪者が増加するなど、エソール広島の来館者向上につながった。
- ジェンダー川柳コンテストでは、協賛企業数が昨年度から6社増え、ジェンダーバイアス解消という事業趣旨への賛同の輪が広がった。上半期の作品募集では、SNS 広告のほか、協賛企業による広報協力や職域での参加呼びかけにより、男性からの応募が増えたほか、中には学校単位での団体応募もあり、取組の広がりが見られた。【応募数：4,244 作品、昨年度：3,747 作品】
- 下半期は、県民投票や優秀作品の授賞式などの機会を捉えた広報や、優秀作品を活用した啓発等により、県民の意識改革の気運醸成を図っていく。

2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

(1) 事業内容

- 様々な悩みに対する電話相談を実施し、複雑・深刻な悩みなどについては面接相談に移行するとともに、必要に応じて弁護士等の専門機関につなぐ対応を行った。電話相談、面接相談ともに前年度同期を上回る相談が寄せられた。相談内容は、「家族（夫婦、子ども、親等）に関する相談」が15.6%増えたほか、年代別では、50代が5割近くを占めた。
- 相談等の対人支援者には多岐にわたる相談対応のスキルが求められることから、困難を抱える方への支援の充実・強化を図るため、支援者養成に取り組んだ。

ア 相談業務（一般相談）※LGBT相談は、「3」の性の多様性についての項目で後述

(7) 相談件数

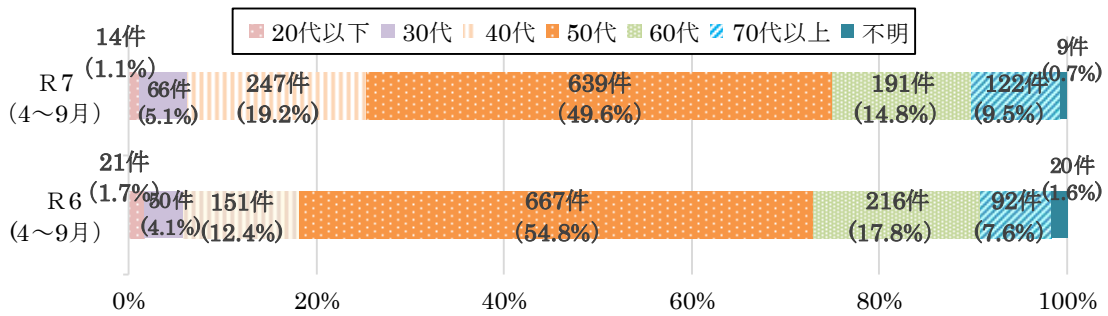
区分	電話相談※	面接相談※	計	前年同期比
令和7年度(4～9月)	1,225件	63件	1,288件	105.8%
令和6年度	(4～9月)	59件	1,217件	—
	年間	122件	2,424件	—

※電話相談は週5日（水曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く）、面接相談は原則、毎週金曜日実施

(イ) 相談内容

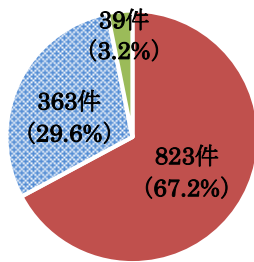
相談内容	令和7年度 (4～9月)	令和6年度 (4～9月)	前年 同期比
家族（夫婦、子ども、親等）に関すること (離婚、夫婦間のDV、子どもの教育、親の世話など)	475件 (36.9%)	411件 (33.8%)	115.6%
男女間や職場の人間関係など対人に関すること (男女・隣人・友人・職場等対人関係におけるトラブルなど)	292件 (22.7%)	258件 (21.2%)	113.2%
健康、孤独などの人生における不安や悩みに関すること (病気を抱える辛さや不安、今後の生き方など)	451件 (35.0%)	486件 (39.9%)	92.8%
その他 (法律や福祉など様々な情報の収集など)	70件 (5.4%)	62件 (5.1%)	112.9%
計	1,288件 (100.0%)	1,217件 (100.0%)	105.8%

(ウ) 相談者の年代



(イ) 相談者の地域別件数

(電話)

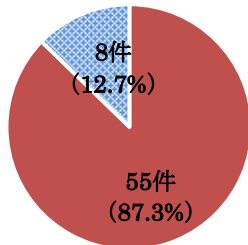


■ 広島市 ■ 広島市以外の県内 ■ 県外・不明

【広島市以外の県内の件数】

呉市	12	三原市	1
尾道市	4	福山市	56
三次市	2	庄原市	2
東広島市	12	廿日市市	35
安芸高田市	2	府中町	7
海田町	7	熊野町	1
坂町	4	不明	218
		計	363

(面接)



■ 広島市 ■ 広島市以外の県内

【広島市以外の県内の件数】

呉市	1	東広島市	1
廿日市市	1	安芸高田市	1
府中町	1	熊野町	1
坂町	2		
		計	8


(オ) 専門機関との連携

専門機関	令和7年度 (4~9月)	令和6年度 (4~9月)	主な事例
警察	0件	2件	
医療機関等	7件	1件	家族との関係に関する悩み
行政機関(子ども家庭センター等)	11件	18件	DV等
弁護士、家庭裁判所等※	23件	12件	離婚等
民間施設	4件	5件	相続問題等
計	45件	38件	

※うちエソール広島で実施した弁護士相談の実績

実施日	相談者	内容
3日間(5/16, 7/18, 9/19)	6件	夫婦間の悩みについて、離婚について

イ 支援者養成

講座名	実施日	参加者	内容
 <p>支援者養成講座 対人支援の技術 実践編</p> <p>講師 宮田智基さん</p> <p>令和7年7月19日(土)・7月20日(日) (全2日連続講座) 10:00~16:00</p> <p>受講生募集</p> <p>7/19 (土) 10:00~16:00 カウンセリングの立ち上げ方</p> <p>7/20 (日) 10:00~16:00 応援スキルの向上</p>	<p>計2回</p> <p>7/19</p> <p>7/20</p>	35人	<p>令和4～6年度に実施した、「対人支援の技術」講座の修了者や広島県内で相談に対応する方等の技術の向上を図るため、より実践的にカウンセリング方法等を学ぶ講座を実施した。</p> <p>対象：①令和4年度～6年度支援者養成講座「対人支援の技術」の修了生及び第1期～第21期「メンタルサポーター養成講座」の修了生 ②相談業務に携わっている方</p> <p>満足度：100%</p> <p>受講者の声：「話のすすめ方を構造的に知ることができた。」「ロールプレイをすることで、カウンセリングを受ける側の心の動きを自分で実感でき、カウンセリングを実際に行う時にとっても役立っている。このような機会を増やして欲しい。」など</p>

(2) 評価と今後の対応

- 相談事業では、50代女性からの相談が多く、その内容は、配偶者や子供との関係に関する相談や、親の介護に関する悩み等が多かった。また、相談内容に応じて、専門機関や弁護士相談の予約を案内するなど、具体的な支援への接続ができた。
- 支援者養成講座では、参加者同士の交流の機会を設けるなどの工夫により、参加者の満足度は100%と高評価を得られた。
- 引き続き、相談内容の傾向等を踏まえ、電話・面接相談を適切に実施するとともに、支援者のスキルアップとネットワークづくりに取り組んでいく。

3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

(1) 事業内容

- 性の多様性の悩み等について、週1日の電話相談を設け、「自分の性に違和感がある」などの相談への対応を行った。相談件数は前年度同期を上回ったほか、年代別では主に30代の相談件数が増加し、民間支援団体へつなぐ対応が増加した。また、福山市において出張面接相談会を実施し、面接相談及びグループ相談を実施した。
- 性の多様性等に関する理解促進について、県教育委員会等と連携し高等学校における出前授業を実施したほか、若者の身近にいる教職員を対象に、実践的な支援の方法などを学ぶ講座等を実施した。

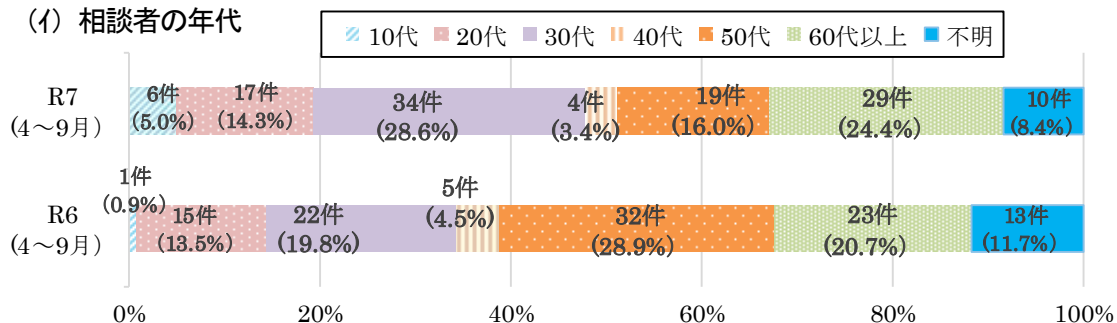
ア LGBT 相談*

(7) 相談件数

区分	電話相談	面接相談	計	対前年同期比
令和7年度(4~9月)	116件	3件	119件	107.2%
令和6年度	(4~9月)	3件	111件	-
	年間	3件	231件	-

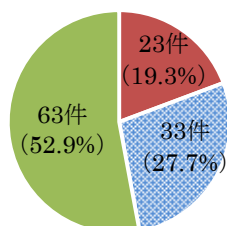
*LGBT 電話相談は平成29年10月開設（開設当初は月1回）、平成30年6月からは毎週土曜日実施

(イ) 相談者の年代



(ウ) 相談者の地域別件数

(電話・面接)



■ 広島市 ■ 広島市以外の県内 ■ 県外・不明

【広島市以外の県内の件数】

呉市	1	三原市	1
尾道市	16	福山市	2
廿日市市	1	江田島市	1
不明	11		
計		33	

(エ) 専門機関との連携

専門機関	令和7年度(4~9月)	令和6年度(4~9月)	主な事例
医療機関	4件	4件	性別違和の診断等
民間支援団体	7件	3件	交流会等について情報を得たい
計	11件	7件	

イ LGBT 面接相談

相談会	実施日	相談者	内容
LGBT 面接相談 ※福山市での出張開催	9/23	6人	支援者による個別の面接相談に加え、大学教授等を交えて相談者同士が交流できるグループ相談を実施した。 満足度：100% 参加者の声：「考えていることを吐き出すだけでも少し落ち着いた。」「自分の気持ちを決めかねていたので、参考になりました。」など

ウ LGBT の理解促進

講座名	実施日	参加者	内容
高校生向け性の多様性等に関する出前授業	6/18 ～9/18 (4回)	1,476人	高校生が、性の多様性について正しく学ぶとともに、多様な人々がそれぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送り、お互いを理解し尊重することの大切さなどについて学んでもらうために、出前授業を行った。 (R6 上半期：5回、1,162人)
エソール広島公開講座 「知ってほしい性の多様性 実践編」	7/31	205人	教育機関関係者等を対象に、性的指向や性自認等に関する正しい知識と理解を深めるとともに、全ての子どもが安心して学び暮らせる環境に向けて、性的指向や性自認に関する差別・偏見に対処する方法、子どもが抱える悩みに対するサポートの提供方法等が学べる公開講座や動画配信を実施した。 満足度：93.2% 受講者の声：「セクシャリティの問題に教員たちも関心を持ちだしたところなので、保護者にももっと啓発していきたいと考えている。」 など

(2) 評価と今後の対応

- LGBT相談は、継続相談が一定数あることや、若年層からの新規相談の増加が見られた。
- 福山市への出張面接相談を実施したところ、満足度は100%と引き続き高評価を得た。
- 公開講座では、教職員等をターゲットに県教育委員会等と連携して広報したところ、学校単位での参加が得られたほか、ゲストに教育現場での実践者を迎えたことで、基本的な知識の理解に加え、より実践的な支援方法について学ぶ機会になり、「多くの気づきを得られた。」といった意見が寄せられるなど高い満足度を得た。
- 性の多様性の理解が必ずしも十分ではないという社会課題を踏まえ、企業等からの講座開催等のニーズを研修受託につなげられるよう、積極的な広報活動を行うとともに、若年のうちから性の多様性に対する正しい理解を促進するため、高等学校における出前授業の実施に引き続き取り組んでいく。

4 上記3分野以外の取組等

(1) 事業内容


- 県や教育機関、民間団体と連携し、ジェンダーに関する今日的なテーマを取り上げた共催イベントや企業・団体からの研修の受託を受け、講師派遣を行った。
- また、図書等の配架・貸出や研修動画の撮影・配信、SNS等を利用した講座・研修の情報発信等を行った

ア 共催事業

県や民間団体と連携し、ジェンダーに関する今日的なテーマを取り上げて、講座やイベント等を行った。

区分	回数(団体数)	参加者	内容
令和7年度 (4月～9月)	17回(10団体)	1,017人	「出張！エソール塾」 「お道具箱の整理ワークショップ」 など
令和6年度 (4月～9月)	14回(8団体)	780人	働き方講演会「未来を切り開く女性たちへ」 「わたしらしく夢を叶える起業応援セミナー」 など

(主な共催事業)

テーマ	実施日	参加者	内 容
	計5回 8/27 9/10 9/24 10/15 10/28	17人	地域や職場の課題をジェンダーの視点で考え、解決策を受講者同士で探る連続講座「エソール塾」を東広島市との共催により実施。下半期には講座での学びを発表する。

イ 研修受託

企業・団体からの受託を受け、ジェンダー平等に関する講演・講座に講師を派遣し、意識啓発を行った。

区分	回数 (団体数)	参加者	内 容
令和7年度 (4月～9月)	2回 (2団体)	61人	子どもの人権、キャリアデザイン等
令和6年度 (4月～9月)	12回 (9団体)	638人	ハラスメント、ダイバーシティ経営等

ウ 教育機関との連携

若年層がジェンダー平等を考えるきっかけづくりとして、小・中学校と連携し、ミニ講座を実施した。

連携先	日 時	概 要
武田 中学校	6/4	「ジェンダー平等を実現しよう」に関する学習を行っているグループの社会見学、ミニ講座およびジェンダー川柳コンテスト審査会 参加者：28人 (うち引率者2人)
熊野第3 小学校	9/19	エソールで学ぼう ミニ講座 参加者：48人 (引率者等含む)
白岳 小学校	9/22	エソールで学ぼう ミニ講座 参加者：85人 (引率者等含む)
計	3校3件	(R6 4～9月：1校2件)

エ エソールつながるトークリレー（YouTube 動画配信）

テーマ	公開期間	講師	視聴回数
上手な聴き方・伝え方 （～共感的な聴き方～・ ～勇気づける言葉がけ～）	4/5～	宮田智基さん（帝塚山学院大学大学院教授、関西カウンセリングセンター講師）	433 回
多様な性のあり方を前提とした学校づくり	5/31～	高畑桜さん（一般社団法人ここいろhiroshima 共同代表理事）	249 回
性の多様性に関していま教育現場で必要なこと （①・②）	5/31～	河口和也さん（広島修道大学教授）	373 回
社会心理学の視点からジェンダーを考える （前半・後半）	8/4～	森永康子さん（広島文教大学教授）	547 回
川柳からジェンダーを考える （前半・後半）	9/1～	山田幸さん（日本放送作家協会中国四国支部監事）	189 回

オ 情報発信等の状況

ホームページ上でセミナーの案内や実施内容、施設利用について発信をしたほか、Facebook や Instagram などの SNS を利用し、施設の利用案内や各種講座・研修の情報を発信した。

また、女性問題、DV、人権、性の多様性など男女共同参画やダイバーシティ等に関する図書等を配架、貸出しを行った。※詳細は、[参考](#)情報発信・蔵書貸出状況のとおり（P14）

（2）評価と今後の対応

- 東広島市との共催で実施した「出張！エソール塾」では、大学生等の若年層からの参加もあり、男女共同参画の理解や防災の学びからジェンダーを考える講義を行い、下半期には身近な課題と解決をテーマとしてグループで発表する。今後は、参加者の活動実践に向けた支援やコミュニティ形成に取り組んでいく。
- 下半期は、ジェンダーの視点で考える防災や、女性特有の健康課題について考える「FEMTECH FES（フェムテック フェス）」など今日的なテーマを取り上げ、他団体等との共催で事業を実施するとともに、企業等からの研修受託に引き続き取り組んでいく。
- ホームページへのアクセス数は、「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」に関する特設サイトをエソール広島 HP 内に設置したことや研修動画等のコンテンツ充実により前年度同期と比べて約 1.2 倍増加した。今後も、コンテンツの充実や関係機関との連携による認知度向上と活動の活性化を図っていく。

第2 エソール広島の利用状況について

1 エソール広島の利用状況

(1) 利用者状況

ア 利用者数

主催講座の参加者や施設の団体利用の増加による「施設利用者数」の増及び、出前授業や共催事業参加者の増加による「外部施設での参加者数」の増によって、エソール広島の利用者数は前年度同期に比べて約1.5倍に増加した。

区分	令和7年度 (4~9月) 実績 A (割合)	令和6年度		対前年 同期比 A/B	
		(4~9月) 実績 B	年 間		
利用者数	18,284 人 (100.0%)	12,256 人 (100.0%)	28,058 人 (100.0%)	149.2%	
うちオンライン参加	1,409 人	1,743 人	3,661 人	80.8%	
内 訳	施設利用者数	12,359 人 (67.6%)	10,273 人 (83.8%)	21,707 人 (77.4%)	120.3%
	うちオンライン参加	1,409 人	1,743 人	2,887 人	80.8%
	研修室・交流スペース利用	10,282 人	8,756 人	18,697 人	117.4%
	情報スペース利用	2,077 人	1,517 人	3,010 人	136.9%
	外部施設での参加者数 (研修受託等)	5,925 人 (32.4%)	1,983 人 (16.2%)	6,351 人 (22.6%)	298.8%

イ 研修室及び交流スペースの稼働率

研修目的等での稼働率は90.1%と、前年度同期と比べて5.7ポイント上昇している。

区分	開館日数 A	研修目的等での利用日数 B	稼働率 B/A
令和7年度(4~9月)	181日 ^{*1}	163日	90.1%
令和6年度(4~9月)	180日 ^{*2}	152日	84.4%

^{*1} 令和7年度は、8/12~8/13の2日間休館している。

^{*2} 令和6年度は、8/12~8/14の3日間休館している。

ウ 施設利用者の利用状況

団体区分別でみると、企業等が6,691人（54.1%）で最も多く、また利用形態別では、講座・研修が59.8%と多い。

区 分	令和7年度 (4~9月) 〔団体別割合〕 (利用形態割合)	(利用形態)				令和6年度 (4~9月)	対前年 同期比
		講座・研修	交流会	会議・打合せ	その他		
共催連携団体	799人 〔6.5%〕 (100.0%)	782人 (97.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	17人 (2.1%)	784人	101.9%
企業等	6,691人 〔54.1%〕 (100.0%)	4,100人 (61.3%)	677人 (10.1%)	1,432人 (21.4%)	482人 (7.2%)	4,920人	136.0%
行政	1,453人 〔11.8%〕 (100.0%)	1,281人 (88.2%)	0人 (0.0%)	143人 (9.8%)	29人 (2.0%)	1,858人	78.2%
男女共同参画財団（主催事業）	1,339人 〔10.8%〕 (100.0%)	1,228人 (91.7%)	0人 (0.0%)	57人 (4.3%)	54人 (4.0%)	1,194人	112.1%
情報スペース利用者	2,077人 〔16.8%〕 (100.0%)	—	—	—	2,077人 (100.0%)	1,517人	136.9%
合 計	12,359人 〔100.0%〕 (100.0%)	7,391人 (59.8%)	677人 (5.5%)	1,632人 (13.2%)	2,659人 (21.5%)	10,273人	120.3%

（2）評価と今後の対応

- 主催事業では、社会課題をテーマとした講座や人気作家を迎えた講座を、職域や市町等を通じた効果的な広報を実施したことにより、これまでエソール広島を認知していない層へアプローチし、認知度の向上や再来訪につなげることができた。
- 下半期も、社会情勢などを踏まえた講座等のテーマや実施方法を工夫するとともに、今日的なテーマを取り上げた共催事業を積極的に行うほか、市町等との広報連携により、訴求効果の高い情報発信を行い、認知度の向上及び利用者数の増加を図る。

参考 情報発信・蔵書貸出状況

(1) ホームページ等

ホームページ	<p>アクセス件数：78,993件（前年4～9月：65,121件） アクセスの多いページ（HOMEを除く）</p> <p>①ジェンダー川柳コンテスト2025（24,952件） ②ジェンダー川柳コンテスト2024（3,276件）③施設利用（3,203件） ④施設案内（3,043件）⑤相談したい方（3,025件）⑥施設予約状況（1,915件） ⑦エソール広島の概要（1,520件）⑧トピックス（1,477件） ⑨ジェンダー川柳コンテスト2023（1,306件） ⑩広島県 相談機関・支援団体一覧（1,138件） ⑪公開講座「若者の転出超過とジェンダーを考える」（1,005件） ⑫公開講座「ものがたりをジェンダーの視点でたのしむ」（826件）</p>
Facebook	<p>投稿回数：53回（前年4～9月：29回） フォロワー数：771人（R6年度末：774人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（25件） ②国・県情報（9件） ③図書の紹介（4件） ④施設情報（15件）</p>
Instagram	<p>投稿回数：53回（前年4～9月：21回） フォロワー数：307人（R6年度末：271人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（25件） ②国・県情報（9件） ③図書の紹介（4件） ④施設情報（15件）</p>
LINE	<p>投稿回数：4回（前年4～9月：7回） フォロワー数：84人（R6年度末：76人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（1件）、②国・県情報（1件）、 ③施設情報（2件）</p>
メールマガジン	<p>配信回数：19回（情報数107件）（前年4～9月：17回（情報数69件）） 登録者数：1,652人（R6年度末：1,542人） 主な配信内容：①研修・イベント情報（75件）、②県内市町からの情報（10件） ③施設情報（9件）</p>
YouTube	<p>公開本数：9本（総登録数48本） 登録者数：201人（R6年度末：173人） 視聴回数：4,015回（前年4～9月：4,021回） 総再生時間：425.3時間（前年4～9月：455.5時間）</p>

(2) 文献情報等

区 分		保有数	貸出数（4月～9月）	
			令和7年度	令和6年度
一般図書	男女共同参画に関する内容	3,481冊	203冊	119冊
行政資料	国・都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等	89冊	(館内閲覧)	(館内閲覧)
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画・ドキュメンタリー等	50本	0本	0本